

令和5年

目黒区教育委員会

第24回定例会会議録

(令和5年7月25日開催)

第24回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年7月25日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		小見哲一
		矢吹翔太

(議事日程)

日程第1	協議事項	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
日程第2	報告事項	区立学校におけるいじめの発生について
日程第3	報告事項	学校運営協議会の設置に向けた進め方について (案)
日程第4	報告事項	令和6年度隣接中学校希望入学制度の実施について
日程第5	報告事項	第七・第九中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について(案)
日程第6	報告事項	第八・第十一中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について(案)
日程第7	報告事項	目黒区立目黒本町図書館における事故の発生について

資料配付

- ・令和5年9月行事予定表

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和5年第24回目黒区教育委員会定例会を開会します。
本日の欠席委員はいません。欠席職員は鈴木統括指導主事です。署名委員は、松村委員です。
ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可しようと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することとします。
なお、以後傍聴の申請があった場合には、22人までその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
(協議事項))

- 教育指導課長 (資料により説明)

- 教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、本日も前回、前々回に引き続き、令和6年度から目黒区立小学校で使用する教科用図書について、「調査研究委員会報告書」と「学校調査報告書」を参考に、実際の教科書も見ていただきながら、協議を進めてまいりたいとおもいます。

資料1の採択日程のとおり、本日は「理科」、「家庭」、「保健」、「道徳」の4種目について協議します。

8月1日の協議で各種目の候補を1社に絞る予定ですので、発行者数が多い種目については、一定程度の絞り込みを行ってまいりたいと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、そのようなペースで進めてまいりたいと思います。
なお、前回、前々回同様、協議の際に呼ぶ各教科書の発行者名は、お手元の資料2、発行者一覧に記載の「協議用記号」で呼び

たいと思いますので、よろしくお願いします。

○教育長

では、まずは「理科」から協議を始めます。「理科」は5社ありますので、この中から本日は2社から3社あげていただきたいと思います。

○委員

私は、理科が最も苦手な教科だったので、どの教科書が一番わくわくするのかなと思いながら見ていましたが、見てみると、どの教科書も楽しく、良く見えてきました。悩みましたが2社に絞りまして、一番目がG社、2番目がJ社です。

G社は、巻頭や巻末ページが良かったと思います。例えば、5年生の教科書では、放水路の写真や川から水が溢れないようにするにはどういった方法があるか、SDGsの目標として掲げている11番や13番の提示があり、巻頭ページには解決する方法を考えようという項目が設けられていました。また、4年生で学んだこと、5年生で学ぶことが整理されているのも良いと思いました。

巻末には、5年生で学んだこと、5年索引、大事な言葉等が掲載されており、良かったです。SDGsとの関わりや学びリンク、また6年生の教科書だと42ページから43ページまで見開きで、人の体の中の様子の全面が、実際の大きさと同じような形で出ているのが興味深かったです。

また、著作者一覧を見ると、目黒区の先生2人の名前があり、2人の先生はまだしばらく目黒区にいたのであれば、この教科書を使用して引っ張っていただきたいというような思いで1番にG社を選びました。

2番目のJ社ですが、二次元コードが非常に整理されているので、例えばそのコードのところに、動画、やり方、資料、シミュレーション、デジ活、話し合いの例、理科ノート、理科の広場等、どんなものの中を見たら出てくるのかが分かって、すっきりしていて良いと思いました。全体的にも良いと思ったJ社です。

5年生の、人の誕生のところを見比べましたが、気になったことは、父親の写真が使われていない会社があること、全体的に父親の影が非常に薄いことが気になりました。その点G社は、父親の写真が数枚掲載されており、一番良いと思いました。

2番目に選んでいたJ社に関しては、現在使用されている教科書と全く同じ写真だと思いました。子どもの教科書を見て、違和感を感じた記憶がよみがえりました。父親の写真が無かった

ので2番目に選びましたが、本当ならここに片隅で構わないと思うので、父親の写真を入れて頂きたいと思いました。

○委員

理科の教科書は全て素晴らしい教科書だと思いますが、2社選びました。1番目がJ社です。子どもたちが問題をまず掴んで、考えて、調べて、まとめて、そしてその考えを広げていく、その流れが非常に分かりやすく、読んでいてどんどん頭の中に入ってくると思いました。また、実験等で「危険」というマークが掲載されており、注意すべきところはこういうところだということが良く分かる形になっていることも選んだ理由です。

G社も、問題が提起され、観察や実験をして、結論に導くという構成になっており、非常に分かりやすいと思いました。それで、最後に確かめるという問題があります。その問題を解く過程の説明が非常に分かりやすいので、この2社を選びました。

○委員

5社ありますが、学習の流れについては、5社ともにほとんど変わりません。いずれも、問題を掴む、見つける、予想する、観察・実験等で調べる、まとめる、最後に学びを広げる、という順序になっています。

また、巻末にノートを取り方が記載されているのも全社同じです。名前が違いますが、自由研究、私の研究等があるという部分も同じです。

また、理科の実験等を行う際には、事故防止が必要なわけですが、危険マークや注意マークで、事故防止を徹底しているのも同じです。ただ、F社は危険マーク等でまとめているのではなく、保護メガネや換気、廃液処理、けが防止、やけど防止、強い光注意といったマークに分かれており、丁寧な印象を受けました。

全体を通して写真が良いのはH社だと思います。例えば3年生の蝶の幼虫が成虫になる過程、4年生の星、5年生のメダカの受精卵、6年生の地層・化石です。また、全体的にレイアウトが見やすいのはJ社だと思います。

F社は、全学年にウイズ・ジ・アースという防災や自然の恵みに関するものがあるのが良いと思いました。

私は、G社とI社の2社です。G社は、まず実験・観察がより科学的な部分があります。例えば6年生の、ものの燃え方と空気という所では、底のある集気瓶と底のない集気瓶の中でろうそくを燃やすと、底のない瓶では消えないのですが、底がある瓶では消えることとなります。他の教科書では、大体その後火が燃

え続けるように空気の流れをつくるというところにすぐ飛んでしましますが、G社では、火が消えた後に、そのまま水の中に入れて、実は瓶の中に空気が残っている、無くなっていないということを確認します。その後、何故消えたのかという問題提起を行い、それは性質が変わったからではないかということで、再度実験を行います。

火をつけて、消えた集気瓶を、そのままもう一回火のついているろうそくにかぶせて、どういう変化があるかということを実験します。その後、集気瓶の中の空気の性質が変化したと結論して、その後で空気の組成について学ぶという形で、非常に段階を踏んでいました。

空気の組成についても、本来は実験で考えれば良いのですが、小学校段階では、このような流れで丁寧で良いと思いました。

それから、写真やイラストを含めて、図が良いと思いました。先ほどご意見がありましたが、6年生の人体図や、5年生の人の誕生の最初のページに、女性、男性、お母さん、お父さんが掲載されています。それから、5・6年生で防災の小単元を設置しているというようなことで、G社が良いと思いました。

また、I社も、問題の設置や予想が科学的である面が強いと思いました。例えば、5年生の電磁石の性質の部分で、電磁石のN極とS極の存在、電流の流れる方向との関係で、他社はN極、S極ありますが、それは分かった後で、では変えられるかなということで、電流の流れを変えれば良いのかと予想する流れとなっています。

I社については、友達の作った電磁石と自分の作った電磁石で、N極とS極は違うという事実を述べた上で、N極とS極を変えることが出来るのかという流れになっています。

これに対する予想として、「3年生で習った固定磁石では、極が変化しなかったら変えられないのではないか」といった様々な可能性を予想しながら進めていく構成となっており、非常に科学的という印象を受けました。

また、5年生の人の誕生の部分で、お父さんとお母さんが出てくることですか、写真のイラストの図画が良いという点では、3年生の「昆虫の体のつくり」の部分が、トンボ、バッタ、アリ、カマキリ、ダンゴムシ、クモの比較があり、非常に分かりやすいと思いました。

「ここに注目」というマークがあり、理科の見方・考え方が適切に記載されていること、「サイエンスワールド」や「りかのたまたまぼこ」といった科学史を取り扱っている項目があること、季節と生物の部分で、7つの季節について取り上げた上で、最後に二十四節気に触れていること等から、私はG社とI社を選びました。

○委員

私は理科があまり得意な科目ではなかったので、全体を拝見していても、あまり違いが分かりませんでした。そんな中で、レイアウトがすっきりしていて、子どもたちが理科を勉強するときに見やすいかどうかという点と、6年生の一番最初に習う燃える仕組みという部分といった2点について、各社の教科書を比較した上で、F社、H社、I社を選択しました。

先ほどお伝えした、6年生の燃える仕組みという部分について、F社の記述が分かりやすかったということ、H社は、ページ数を相当割いて丁寧に記述していること、I社も同様に非常に丁寧な記述があったことに対して、他社の教科書が若干分かりにくいと感じたことが差をつけた部分になります。

H社については、版が小さいこと、レイアウトが全体的に整然としており、SDGsについても具体的に学習内容との繋がりというのを記載しているところが、子どもにとって分かりやすいのではないかと思います。

I社については、版は大きいものの、キャラクターの会話形式を通して、子ども達が楽しく理科を学べるという工夫がされているところが良いのではないかと思います。全体的にレイアウトも見やすいですし、表紙も非常に楽しそうなものが使用されており、子どもたちが親しみを持てる教科書ではないかと思いました。

○教育長

私はJ社とG社です。

J社は版が大きいのですが、全体として児童が理科に能動的に関わる姿勢を導きだせるようなつくりになっているかと思えます。まず、表紙を開くと、見開きで表紙から繋がる形でその学年の大きなテーマが示されています。次に各単元に入っていくと、初めに何々してみようという問いかけの大きな見出しから始まり、一貫して子どもたちが考え、観察し、実験するという態度を促すような言葉がけがなされています。

そして、単元の区切りごとに、振り返り、確かめるページも用

意されており、巻末にも理科の学びをより深めるために必要な技能も示されており、子どもたちが理科に積極的に関われる教科書だと思います。

次にG社ですが、こちらの版は5社の中では中程度の大きさとなっています。こちらは非常に良く整理されていると思いました。まず表紙を開くと見開きの大きな写真があり、SDGsに関連させた問いかけがあり、以下前の学年で学んだこと、当該学年で学ぶこと、そして考えを伝え合うことの大切さ、更に学習の進め方までが巻頭部分でひとまとめになって示されています。

そして、各単元で観察や実験の説明で用いられているイラストや写真も、非常にきれいで見やすいと思いました。

併せて、6年生で言えば、災害関連や食物連鎖に関する写真や、先程から話に上がっている人間の体内のほぼ実物大のイラスト等はインパクトがありますし、各分野の専門家からのメッセージやコラムといった欄も丁寧に作られています。そして、裏表紙は、理科を学ぶ上での安全の手引きでまとめられており、すっきりとした非常に良い教科書だと思います。

各委員に意見を頂きまして、複数の委員が推されました社は人数の多かった順でG社、J社、I社の3社です。

この3社を残すということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、理科については、この3社を残すこととします。
ここで、議事の都合により暫時休憩といたします。

(午前9時55分から午前9時57分まで 休憩)

○教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
次は、「家庭」について協議します。
「家庭」の発行者は2社ですので、本日は絞り込みは行わず、委員の皆さまのご意見・ご感想を伺うのみとし、8月1日の協議で1社に絞りたいと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○委員 家庭科の教科書を見ていて、子どもたちが見て、出来ると思うような写真が素晴らしいのが、F社でした。手縫いの手順や糸の結び方、ものの整理整頓が写真入りで非常に丁寧に説明されており、この3点だけでも素晴らしいと思いました。

また裏表紙に、ニンジンなどを切る形や、物差し等もついており、子どもたちにとって扱いやすいのではないかと思い、F社を選びました。

○委員 まず、題材の扱いですが、F社は生活を見つめてできることを増やしていくというAというジャンル、工夫して生活に生かそうというBというジャンルでの構成となっており、計20に分かれています。一方、G社の題材は、計15です。

各題材が焦点化されているという点では、F社のほうが良いと思います。

例えばG社では、4つ目の題材に、物やお金の使い方、持続可能な社会へ、となっており、消費者の役割、収入と支出のバランス、買い物の手順、売買契約等があります。これらは持続可能な社会と無関係ではありませんが、持続可能な社会を合わせるには相当無理があるという感じを受けましたし、4番目の題材の、売買契約や持続可能な社会については、早すぎるのではないかと思います。

F社は、4番目は整理整頓で快適にということ、自分の身の回りの生活で整理整頓をするということもあり、こちらの流れのほうが自然だと思いました。

なお、消費者の役割や売買契約、収入と支出のバランスについても8番に掲載されていますし、持続可能な社会については、Bの最後に登場するといった順番も、F社のほうが適しているのではないかと思います。

家庭は実習が多いことから、実習を行う際の安全性への配慮について理解しておくことも大事になります。F社は題材毎に安全への配慮事項が記載されているのに対して、G社は題材ごとには記載されておらず、巻末や巻頭ページにあります。そのため、題材ごとに安全への配慮事項が記載されているF社のほうが良いと思いました。

なお、両社とも生活の課題と実践、生活を変えるチャンス等という題材もあり、良いと思いました。

また、もう1点、家族との団らんを扱う題材についてですが、

F社は「家族や親しい人達と集まって楽しく時を過ごすことを団らんという」という記載にあるように、家族や親しい人の集まりについて述べており、「いっしょにほっとタイム」という表題となっています。一方、G社は、「気持ちがつながる家族の時間」という題材名となっています。この文中には、家族や親しい人達と「親しいひとたち」という言葉も入っていますが、題材名が「家族の時間」となっていることに違和感を感じました。

これについては様々な考え方があり、家族というものをもっと大切にしなければいけないので、家族の時間というのを全面的に打ち出したほうが良いという考え方もあるとは思いますが、例えば、本当に少人数だとは思いますが、養護施設にいる子どもたちが通学していることもあるので、私は「いっしょにほっとタイム」という題材の名前で、家族や親しい人とほっとする時間をつくっていく、団らんをつくっていくというF社のほうが良いのではないかと思います。

防災関係について記載されている等の点は同じですが、これらの理由から、私はF社が良いと思いました。

○委員

私も2社を見比べて、扱っている題材はほとんど同じだと思いましたが、児童が学ぶ上で使いやすい、見やすいという意味で、F社のほうが優れているのではないかと思います。

例えば、家庭科で扱う料理のゆで方や裁縫の縫い方についても、同じような写真が掲載されていますが、F社のほうが横一列に並んでいて手順を一覧にして見やすく、その写真を見て生徒が自分でやるという点ではやりやすいのではないかと思います。また、SDGsについても、F社のほうが具体的な記載があったように思います。

また、良く分からなかったのですが、G社は5年生はここまで、6年生はここからという区切りがあったと思いますが、区切りの場所が5年生のほうが6年生と比べて盛り沢山だと思いました。

F社は特にそういった区切りがないことから、ある程度、F社のほうが5年生と6年生で学ぶ内容を先生が柔軟に運用出来るのではないかと思います。G社の5年生と6年生の分量のバランスを変えていたのではないかと思います。

このことから、結論としてF社のほうが良いと思いました。

○委員

私は家庭科の中で特に大切にしたいものが食のことだったの

で、各社の食のページを比較しながら見ていきました。

F社の良いと思った点は、16ページの野菜のゆで方の違いを確かめようの部分では、大根の白い部分と葉っぱの部分が分かれており、白い部分は主に水から茹でる、葉っぱの部分はお湯から茹でる、また50ページのご飯を炊いてみようのところでは、文化鍋とガラス鍋の両方が出ていたこと、56ページの旬の食品を使った味噌汁というページも良かったと思います。

また、118ページの「献立を工夫して」のところでは、5・6年生が1日に必要な目安の量が大人と同じ、もしくは大人よりも摂取基準量が増えてくる食材もあると思うので、こういう部分は非常に大事だと、視覚的にも大事なページだと思っていました。意識しないと取りにくいような青菜や豆・大豆製品、芋系等の結構意識しないと取りにくい、取ったほうが好ましいと言われている数字を取るのには難しいことだと思います。しかし、F社は、例えば写真の中に五目煮豆が入っている等、様々なおかずの例の中には芋類も良く入っていました。

希望を言いますと、副菜の下のほうに納豆も入っていればもっと良かったと思います。手軽に取れますので、次回は是非検討して頂きたいと思いました。

92ページの加工食品については、原材料名が記載されており良かったです。加工食品は手軽ですし、小学生にとっては使いやすいというか、生肉、生魚は使えないみたいなのですが、使いやすい食材だと思いますが、添加物も多く含まれているので、加工食品を毎日食べてほしくはないと思いました。

また、全体を通しての感想です。子どもたちにとっても果物の一日の基本となる量がありますが、最新情報ではないと思いますが150グラムは必要とされているかと思います。それなのに、果物の写真が非常に少ないと感じました。例えば、給食の写真に掲載するときにイチゴ1個だけでも掲載されていればまだ良かったのですが、他の部分では、あまり果物がイラストでも出てこなかったのも、視覚的等の理由からも果物を入れてほしいと思いました。

150ページの「栄養素の働きによる食品の分類」という興味深い表が折り込みの中に入ってしまったので分かりづらくなっていることは残念に思いました。

また、食のことはありませんが、63ページの買い物の部分

で、支払に使える様々なカードの分類が私としては十分に理解できませんでした。これに関しては、G社のほうが分かりやすいと思いました。また、今の時代、子どもたちもバーコード決済等でお金を親から得て買い物をしているという話も聞きますので、バーコード決済の記載も入っていたら良いのではないかと思います。ページの下に英単語と豆知識があるのが面白かったです。

G社ですが、25ページの旬の野菜と芋が良かったです。巻末では、二次元コードから図鑑が見られたのも良かったです。また、119ページの日々の備えの部分で、缶詰やレトルト食品を使った料理の紹介も興味深かったです。

○教育長

家庭科の教科書を2冊見て感じたのは、今の私が見ても役に立つような内容が掲載されており、良く出来ているという感想を改めて感じました。

F社を中心に話しますと、まず表紙を開くと見開きと折り込みのページを使って、子どもたちの学びの成長のこれまでとこれからを一覧にして見せています。G社も同様のページはありますが、よりインパクトのあるつくりになっているかと思いません。

後に続いている単元構成を見ても、F社のほうが分かりやすいと思いました。例えば、細かい部分ですが、F社は調理についての単元の中で、ガスコンロの使い方、湯の沸かし方等が示されています。G社は、日常生活の中の仕事の一つという切り取り方がされており、若干メリハリが分かりづらいという印象を受けました。

更に細かい部分についてですが、卵やジャガイモの茹で時間による違いを見せるための写真がありますが、これもF社のほうは、はっきりと非常に分かりやすい写真で、G社のほうはその時間による違いが少し見えづらいという部分もあります。

F社は、巻末に中学校への繋がりを意識させるページがある点も良いと思いました。

どちらかというとならF社を推す話になっていますが、両社とも色使い等も明るく、落ち着いた良い教科書になっていると思いました。

「家庭」については、8月1日の協議で1社に絞りたいと思います。

ここで、議事の都合により暫時休憩します。

(午前10時10分から午前10時12分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
次は「保健」について協議します。「保健」は6社ありますので、この中から本日は2社から3社をあげていただきたいと思います。
- 委員 6社いずれも、現在の学習指導要領に基づいて作成しているので、どの教科書も課題を見つけたり、調べたり、解決したり、話し合ったり、まとめ、生かすというような流れであることは同じです。
若干違いがありますが、F社が学習の進め方を3等分して表示して、2番目に必ず説明をするというのが入っています。
他の教科書では話し合いが入っていない題材等がありますが、F社は必ず2番目に話し合い、説明するところが入っています。
保健という科目の性質から考えると、自分の体や自分の生活について、そして将来よりよく生きていくために、自分のことを考えたり、自分の生活について考えたりする科目で、自分ひとりで考えているのではなく、自分と考え方の違うような友達の考えを知るところも、「多様な」というところまで話し合いで行くかどうか分かりませんが、友達の考え方を知ることが非常に重要だと私は思っています。
学習の流れについてですが、どの題材にも2番目で、「友達や皆と考える」「話し合う」「説明する」ということが入っているF社が良いと思いました。
それから、F社とG社は、全編が健康というところで貫かれているように思いました。F社は2冊、3・4年、5・6年ともに巻頭見開きに「健康ってどんなこと」と書いてあります。更にページをめくると、「私たちの生活と健康」ということがあり、健康が基盤になっており、編集の方針として貫かれています。
また、G社も巻頭見開きに「私と健康」というものがあり、健康について著名人の文章が掲載されており、保健という科目は健康について学ぶということが印象付けられています。
ページをめくると「どうして保健を学ぶのかな」というページ

があり、3・4年生では「健康だと色々なことにチャレンジできる」、5・6年生ではみんなが健康で安全に楽しく過ごすためには保健の学習って必要なんだね」という記述があります。

F社、G社ともに、これから成長して、自己実現を通して未来を切り開いていく子どもたちに、健康は重要であるということが編集の方針になっていると思われるので、良かったと思います。

K社も良いですが、実は話し合いというのが少ないという印象です。例えばK社は学習の流れが4段階になっており、気づく、見つける、次に調べる、解決する、次に深める、伝えるというのがあり、最後はまとめで生かす、という構成になっています。深める・伝えるという部分で、話し合いが設定されるのかなと思いましたが、考えましよう等の問いかけが多く、話し合いというのは少ない印象を受けました。

その他、イラストやページ構成のバランスが良いと思ったのは、F社とG社とK社ですが、以上の点から、私はF社とG社を推したいと思います。

○委員

保健の教科書は6社いずれも内容的に充実しており、甲乙つけることが難しかったです。

私はF社とK社を選びました。F社は軽量で紙の質が書き込みしやすく、様々なメモを取るページ等もありますが、そこが児童にとって便利だという点をポイントに選びました。

全体的にどの教科書も内容は豊富だとは思いますが、K社は、特に3・4年生の体の変化について、男女の体の変化を具体的に充実したイラスト等を使って、分かりやすく解説しているところをポイントに選びました。

○委員

私はK社、J社、G社の順番です。

1番良いと感じたK社は、先程の理科同様に、二次元コード等で分かるように記載されており良かったです。ワークシート、試行ツール、主な生活習慣病等がしっかり描いてあり、すっきりしていると思いました。3・4年生の思春期に現れる変化の部分では、非常に好印象でした。

2番目のJ社は、目次にこの教科書から利用できるウェブコンテンツ一覧があったのが良いと思いました。イラストも見やすいですし、5・6年生の7ページの大谷翔平選手の部分では、二次元コードから大谷選手の直筆の目標達成シートが見られて

興味深かったです。

3番目のG社ですが、3・4年生の26ページの身長伸び方のイラストは、一番私は分かりやすいと思いました。発育の仕方には個人差があるということが良く伝わる内容かと思います。38ページのスポーツ選手と食事の部分で、公認スポーツ栄養士で「小学生でも大人でも、スポーツをしていてもしていなくても、食事の基本はバランスよく適切な量を食べることです」といった言葉があり良かったです。スポーツ選手のための特別な食事ではなく、皆に置き換えられるということが伝わると思いました。

○委員

いずれの社も内容的にはほとんど変わらないと思いますが、私はまずF社を選びました。理由ですが、保健は当たり前のことが描かれているので捉えどころが無いものが多いのですが、自分の考えを書き込んで確認できるようなページがきちんと設けられているのが良いと思いました。

もう一つ選んだのはJ社です。問題が出ており、様々な考えがその下に隠されているという面白い構成になっています。子どもたちがそれを隠すことによって、その問題を見て、何か子どもたちの好奇心を惹き立てるもの、好奇心に訴えるような教科書だと感じたことが選んだ理由です。

それからもう一つ、I社も学んだことを十分に生かしていくにはどうしたら良いのかが詳細に記載されており、良い教科書だと思いました。結果として、私はF社、J社、I社です。

○教育長

保健についても、家庭科と同様に大人になって目を通してみると、改めて大切な科目だと実感した次第です。こちらも一覧表の順番で言いますと、K社、G社、F社をあげたいと思います。

まずK社についてですが、初めに保健の学習の進め方、教科書の使い方を見開きでコンパクトに示してあります。そして、各章の扉のページには、その章の学習の流れと目標が明確に示されている点、心身の健康を守るために必要なスキルを具体的に掲載している点が、子どもたちにも分かりやすい教科書だと思いました。

また、他社にも見られますが、随所で子どもたちに書き込みをさせる構成となっています。他社と比較すると、問いかけがより具体的で効果的な内容になっており、子どもたちが教科書を見ながら、読みながら考えを深められる点も良いと思いました。

3・4年生の思春期の体の変化の部分で、男性的な特徴、女性的な特徴という書き方が基本の項目になりますが、その中で、性と自分らしさという問題がありますが、実に上手にまとめてある点が良いと思いました。

次にG社ですが、特徴的な部分として、巻頭で著名人からのメッセージと、6コマの漫画で保健を学ぶことの意義が明確に述べられています。そして、各章の扉ページでも、4コマの漫画で、その章で学ぶことや得られることが示されており、子どもたちの心には入っていく形なのかなと思いました。また、K社で触れました、思春期の体の変化に関する性と自分らしさの項目については、明確な答え方はしていません。基本的には悩み事は相談しましょうという形で終わっていますが、この相談するというのも非常に大切なことだと思いますので、どちらを取るかということだと思います。

ちなみに、表紙はG社が5・6年生用の表紙で共生社会というものをさりげなく表現しており、個人的には一番良いと思いました。

最後のF社は、心の健康を扱う中でいじめ問題に触れている点を評価しました。

以上、K社、G社、F社をあげました。

一通り委員の皆様から意見等を頂き、6社中5社について名前が挙がったところですが、3社程度に絞りたいと思います。

推した委員の数が多かった3社は、K社、G社、F社ですが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、8月1日の協議では、K社、G社、F社を採択候補として、この中から1社に絞りたいと思います。
 ここで、議事の都合により暫時休憩します。

(午前10時24分から午前10時26分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
 次は、「道徳」について協議します。「道徳」につきましても6社ありますので、この中から本日は2社から3社をあげてい

ただきたいと思います。

○委員

道徳については、6 学年それぞれに 6 社あり、冊数も非常に多かったのですが、読み比べるのが大変でしたが、結論として私は I 社と F 社を選びました。

様々な話を取り上げていますが、出版が何社か共通して採用している話というのが、私が気づいた中でも、杉原千畝や青の洞門、マザー・テレサ等がありましたが、会社によって微妙にまとめ方が異なったり、分量が異なったり等、どの 1 社が良いとか悪いということがないため、教科書の優劣をつけるのが難しかったです。

その中で、I 社は全体的な印象として整理されているので、道徳という科目にふさわしい優しい雰囲気を出し出すような教科書だと思いました。内容的にもバラエティーに富んでおり、説教的な話だけでなく、宇宙や地球温暖化、歴史的事実、あとはアメリカの人種差別の問題等、そういった多岐にわたるテーマを取り上げている部分に好印象を抱きました。

また、F 社についても、マザー・テレサや青の洞門等を採用している部分は、他の教科書とも共通していますが、その中で私の好みもあるかもしれませんが、ルース・ベイダー・ギンズバーグ、R B G を取り上げているというところに先進的な感じを受け、好印象を持ちました。

また、様々な感想を持ちましたが、ある 1 社がアニメに出てくる家族を取り上げていました。アニメのキャラクターが登場することで、子どもたちにとって非常に印象に残るものだと思いますが、そのアニメのキャラクターが発する質問が、「おばあちゃんはいつも優しい」「お母さんはいつもにこにこしている」という問いかけになっています。これでは、そのアニメのキャラクターの言葉を通してバイアスをかける危険性があるのではないかと思います。もしその教科書を授業で使用する場合には、その部分については注意をして使っていただければと思ったところです。

以上のことから、私は I 社と F 社です。

○委員

私は絞り込むのが難しかったため、K 社、G 社、F 社、J 社の 4 社となりました。

この 4 社に決めた理由としては、6 社ともに手品師の話があると聞いていたので、そこを比較して決めた次第です。手品師の

話を読み、各社そのことをどのように扱っている教科書かということを見ていきましたが、I社では、二次元コードから手品師の朗読を聞くことが出来、作者の言葉が他の声優によって音声でも聞くことが出来ました。こちらの手品師の話の作者が手品師に向けてメッセージを書いたものの一部について、お聞きになっていない方がいるかもしれないので読み上げます。

「あなたは現在何をしておられますか。大舞台に立って華やかに手品を演じているのですか。それとも、あのときと同じように暮らし向きは楽にはなっていないのですか。恐らく、あなたはあのときと変わらず、安アパートの一室で硬くなったパンをミルクに浸しながら飢えをしのいでいるのでしょうか。でも、きっとあなたは毎日毎日を満ち足りた気持ちで暮らしているに違いないと思います。あのとき、自分の気持ちを偽り少年の心を傷つけてしまっていたら、たとえ有名になり、ぜいたくな暮らしができたとしても、今のような爽やかな日々を送ることはできなかったでしょう」

6社いずれも掲載されていますが、私はこういった作者の思いがある話だと知り、非常に衝撃を受け、目黒区の子どもたちにぜひこの教材を使用して欲しいと思いました。

子どもたちが誠実な大人になってくれたらと願っていますが、それよりも何よりも自分を一番大切にしたいと思っています。今のこの時代、堅苦しく、これが誠実なことだと決めつけるのではなく、しなやかに生きてほしいと考えています。そのため、この教材の表し方を重要視しました。

○委員

絞り込むのが非常に難しかったのですが、3社を選びました。

まず選んだのはK社です。K社については、教材の一覧表があり、内容から何を学ばせるかということが非常に分かりやすく、先生にとっても非常に使いやすい教科書だと思いました。

次はG社です。各単元の終わりに、考えよう、まとめよう、広げようということが記載されており、非常に分かりやすく工夫されている印象を受けました。

最後はF社です。F社は取り上げている題材がスポーツ選手や日本の偉人、女性の画家といった具体的で分かりやすいものになっていると思いました。

これらの理由から、K社、G社、F社を選びました。

○委員

6社それぞれに良さはありますが、最初に違和感を感じたこ

とは教科書の表題です。H社は「生きる力」、I社は「きみがいちばんひかるとき」、J社は「はばたこう明日へ」という表題です。それぞれの会社の意気込みや工夫を感じました。

それで、現代に生きる人の生きざまに迫る教材があるという点では、皆さん同じような部分があると思いますが、良さで言うと、G社は多面的・多角的に考えるような思考の方法ですが、例えばウェビングやグローチャート、XYチャート、フィッシュボーン等もあって面白いと思いました。

また、各学年に一つだったと思いますが、へこんでも立ちなおるマークがついた教材があり、これも面白いと思いました。3年生は「強みを見つけよう」、4年生は「心の力を育てよう」、5年生は「立ち直り曲線」、6年生は「レジリエンス」です。特に6年生の「レジリエンス」は、へこんでも立ち直る心の力ということで、約10年弱程度ですが、相当注目されている概念で、面白いと思いました。

また、J社については、多面的・多角的に考えるような教材として「心のベンチ」があり、これも面白いと思いました。こういった教材としては、K社のコラムに「つながる・広がる」というものがありました。

G社、J社、K社も良いと思いましたが、私はH社とI社を推したいと思います。

まず、H社については、新しい教材が非常に良いと思いました。例えば2年生では、タブレットを利用して幼い頃の写真を見るといった教材であるハッピー・バースデー、4年生はニュージーランドからの転校生を扱ったブルラッシュ、5年生は気象学者を扱ったミスター・トルネード、6年生は、コロナの中でウイルスと戦うお父さんを扱ったウイルスとの闘い、父にエールを、そして非常に有名な話ですが、ケニアの94歳の小学生が掲載されていました。

それらを扱った教材や災害救助犬を扱った教材など、これまでの道徳の教材とひと味違う教材が多いということが良かったと思います。それから、別冊の道徳ノートも自由に書ける形式になっており、良かったと思いました。

それから、I社については、各教材の終わりに、考えよう、話し合おう等の問題提起といますか、ステップがありますが、これが非常に丁寧で、教材を通して何を考えるかということが大

きな文字でまず書かれており、それから問いが3つのステップになっています。

道徳のこの教材を通して、どういう課題を考えて欲しいのかという問い、それからその教材の中を通して道徳的価値についての理解やそれを深める問い、自分を引き付けて考える問い、という3つの問いから構成されており、非常に整理されており良かったと思いました。

それから、私が画期的だと感じたことですが、「繋げよう」という部分に「もやもやん」というマークがあります。これは、分かっているのにやめられない、分かっているのに出来ない等のもやもやとした気持ちを代弁するものです。

道徳は規範を押し付ける科目であってはいけない、そういう意味で少し前まで教科ではありませんでした。そのため、「もやもやん」というマークがあり、もやもやを代弁するような発問をしているのは良いと思いました。

また巻頭に、みんなと気持ちよく話し合うためのコツが見開き2頁で記載されていることや読み物教材ではない問題提起ページがあるのも良かったと思います。

最初に言い忘れましたが、6社ともユニット教材という名前が付きます。何故ユニット教材というのか分かりませんが、目次で色分けされている教材があり、各社ともにそれぞれあることが、それぞれの社の工夫として良いと思いました。結論としてH社とI社を選びたいと思います。

○教育長

私は一覧表の順番でK社、I社、H社です。

まずK社ですが、いじめについて考えること、いのちの大切さを感じる事、自分のよさや可能性も見つめることという3つの大きなテーマを掲げて、それらに関する話を1年生から6年生まで継続的に掲載する一貫性があり、いじめ防止等に資する部分が大きいと考えました。

次にI社です。版が小さい教科書ですが、巻頭で道徳は何のために何をどう学ぶかということが十分に整理されています。また、谷川俊太郎の訳による「世界人権宣言」を読ませるページや海洋ゴミを集めて海岸に作った鯨の死骸を模した作品の写真等、非常に刺激的な教科書だと思いました。

あとはH社です。これについては「生きる力」というタイトルに惹かれた部分もありますが、別冊の道徳ノートが付いている

のは良かったと思えました。少し古典的な手法という印象も感じましたが、このノートを使って教科書に掲載されている一つの題材について、自分でどう考えたか、それを文章にして残す努力をするというのは子どもたちの成長を促すのに、どの時代であっても有効な手立てだと思えました。

委員の皆様から一通りご意見を頂きました。6社全ての社の名前が挙がりましたが、あげられた委員の人数が多い社として、K社、I社、F社の3社について、次回1社に絞り込みたいと思えますがよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、そのように進めてまいりたいと思います。

8月1日の協議では、K社、I社、F社を採択候補として、この中から1社に絞りたいと思います。各委員におかれましては、教科書や報告書等の資料に再度目を通していただき、検討していただければと思います。

それでは、本日の協議はここまでとします。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時43分から午前10時45分まで 休憩)

○教育長

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、日程第2を議題とします。議題に入りますが、日程第2については個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書の規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議いたします。

それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。

非公開にすることに賛成の委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

○教育長

それでは、日程第2は、非公開により審議することとします。

(午前10時47分から午前11時12分まで 非公開会議)

- 教育長 ここから会議を公開します。
次に、日程第3を議題とします。
- (日程第3 学校運営協議会の設置に向けた進め方について(案)(報告事項))
- 教育政策課長 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第4を議題とします。
- (日程第4 令和6年度隣接中学校希望入学制度の実施について(報告事項))
- 学校運営課長 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第5と日程第6を議題とします。
- (日程第5 第七・第九中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について(案)(報告事項))
- (日程第6 第八・第十一中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について(案)(報告事項))
- 学校施設計画課長 (資料により説明)
- 教育長 これらの件についてご質問等がありますか。
- 委員 説明を聞いていると、心配や不安より、楽しみな気持ちになってきます。
項番5「設計において重視する主なポイント」の(3)教員の働きやすい環境の部分に関連する質問ですが、これを実現するために、教員の休憩室の整備や、具合が悪くなったときに横になれる布団セット等の備えといった面での働きやすさも組み込まれているのかなと思います。実際はどのように考えているのでしょうか。
- 学校施設計画課長 これは職員室を計画する際に特に重視する視点です。従

来の校舎では、教員は常に子どもの視界の中にあるという状況ですが、教員も子ども達の視点から外れ、休憩できるスペースが必要と考えています。また、少人数での打合せスペースの設置など、多様な働き方に対応した教員の居場所を整備する必要があると考えています。

○教育長 改めて私から1点だけ確認させてください。今、小学校の施設更新に当たっては、区有施設との複合化が大きなテーマになっていますが、現時点で今回の中学校の新校舎設計に当たり、その辺りの考え方はどのように整理されているのでしょうか。

○学校施設計画課長 今回の統合に係る中学校の複合化については、区長部局とも話をしています。そもそも2校あるところを一つの敷地に集約しているというような状況でして、地域の方々の意見からは、学校が手狭になるんじゃないか、人数が増えて教育環境が悪くなるんじゃないか等の意見をお聞きしているところです。設計としては、そういったことのないように進めていきたいと思っています。そのため、そこに新たな別の用途を入れていくという考えは教育委員会として持っていないので、それについては区長部局とも調整が行われているところです。

○教育長 区有施設との複合化については、より地域に近いところにある小学校のほうに任せるという整理をしているということですね。

○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第7を議題とします。

(日程第7 目黒区立目黒本町図書館における事故の発生について(報告事項))

○八雲中央図書館長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

○教育長 議事の都合により暫時休憩とします。

(午前11時36分から午前11時37分まで 休憩)

○教育長 議事を再開します。
9月19日開会予定の定例会は休会します。

資料配付
・令和5年9月行事予定表

○教育長 その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時40分閉会)